

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.135号> 2022年 6月1日 発行

ごあいさつ

勢いを増した緑を育む 陽光と慈雨が交互に降り注ぎ、梅雨の近さを感じさせます。

そんな中 明治用水の漏水は、まさしく寝耳に水の驚き。碧海台地とも呼ばれる西三河平野は明治13年に用水が完成してようやく水不足から救われた地域で、それがその後の農業・工業の飛躍的な発展に繋がりました。水事業の重要性を改めて認識させられた大規模漏水は、企業や農家などの他多くの利害関係者を生んでおり、迅速な補修工事はもちろんのこと、老朽化や耐震対策等の定期点検にも注力願いたいと思います。

さて長引くウクライナ侵攻や不安定な世界の情勢で日本経済も一進一退、景気の先行きが懸念されますが先般、世界経済フォーラム総会で、観光地として日本が世界117ヶ国中 第1位の評価を受けたという嬉しいニュースがありました。コロナ禍の落ち着きと共に海外からの入国制限も徐々に緩和され、今後の観光業や地域経済回復が促進・活性化される事を期待します。

刈谷市議会は、今月8日より6月定例会を開会、身近な環境問題への対応や、将来に向けた快適なまちづくりへの投資について、質疑を通じ訴求して参ります。



刈谷市議会議員



【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地 (トヨタ車体労働組合内)	
Tel	0566-36-3870
Fax	0566-36-6272
E-mail	itou@bwcom.or.jp
HPアドレス	http://y110.jimdo.com



歳時記

6月 1日 (水) 衣替え	白いシャツやブラウスが、瞳に眩しい
4日 (土) 歯の衛生週間 (→10日)	頃となりました。長雨を控え近年では傘の種類も豊富になり、男性の日傘も登場。
5日 (日) 芒種	温暖化によるものか、夏場の集中豪雨
11日 (土) 入梅	も全国に頻発しています。平常時にできる
19日 (日) 父の日	未然の防災を 心掛けて参りましょう。
21日 (火) 夏至	

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



緑豊かな自然を背に、長辺十数メートルの立派なビオトープです。子ども達がお世話する虫は、この夏の夜も輝いてくれるかな～☆さて、ここはどこでしょう？



5/1発行の<No.134>の答えは、井ヶ谷町は洲原池を望む 洲原公園のウッドデッキでした。池を挟んで滴る緑にも 初夏の陽射しが降り注ぎ、のどかな池畔に 涼やかな薫風が渡ります。

"おうち周りの食材探し"への招待☆

ロシアのウクライナ侵攻から3ヶ月が経過し、ウクライナ産の食料生産物等の輸出が困難を極めているようです。遥かなヨーロッパと言えども、このグローバル社会では日本への影響も必至、既に直撃を受けている業種もあることでしょう。世界では8億人余の人々が飢餓で苦しみ 栄養不足に陥っているとのこと。平和に慣れきた私共には実感を抱く人は少ないかも知れませんが、それが実情です。四季豊かで、海の幸・山の幸に恵まれた日本。春の訪れから初夏には、山里だけでなく川岸の土手や田の畔など、土筆や野ビル・蓬他、身近なところにも食すことのできる野菜・山菜が自生しています。天ぷらや油炒め・卵とじて独特の苦みを和らげ、我が家オリジナルの味付けで季節を楽しみ、郷土愛を育むことにも。メインディッシュにはなれずとも、滋味溢れる一品は 巡り来る季節や自然が身近に在ることを感じさせ、健康や美容にも貢献しつつ 家族の食卓を飾ります。いつものウォーキングコースから足を延ばし 街並みを少し外れた辺り、拓けた景観と夕風に心身を解き放って、今晚の副菜の食材に 目を凝らすのも一興です。戦禍に怯え暮らす 彼の地の人々が、一刻も早く 平和を取り戻すことを願って。

6月の行事予定

6月 8日 (水) ~10日 (金)	6月定例議会 本会議
14日 (火) ~17日 (金)	6月定例議会 各常任委員会・予算分科会
20日 (月)	刈谷・知立環境組合臨時会
23日 (木)	6月定例議会 予算審査特別委員会
24日 (金)	6月定例議会 本会議

"まじめにコツコツ、
即行動"
頑張ります!!



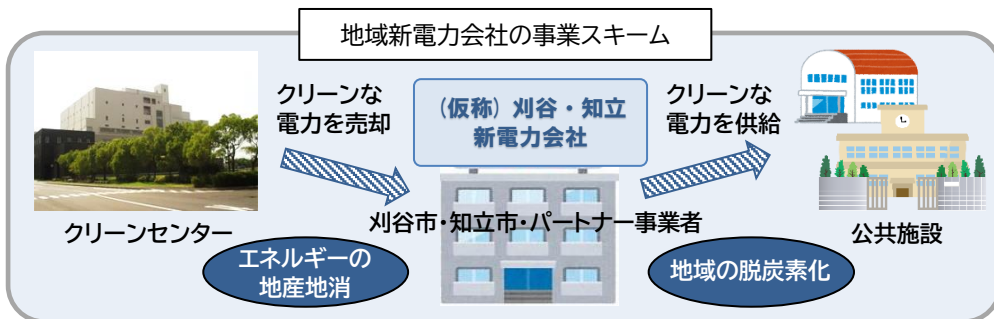
5月のフットワーク

刈谷市の「ゼロカーボン」に向けた取組みの一部を紹介

刈谷市は、令和4年3月定例議会において、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言。目標達成に向け今後なお一層、脱炭素に向けた様々な取組みを積み上げていく必要がある。今年度より始まる新たな事業を紹介します。

■ 地域新電力会社出資事業

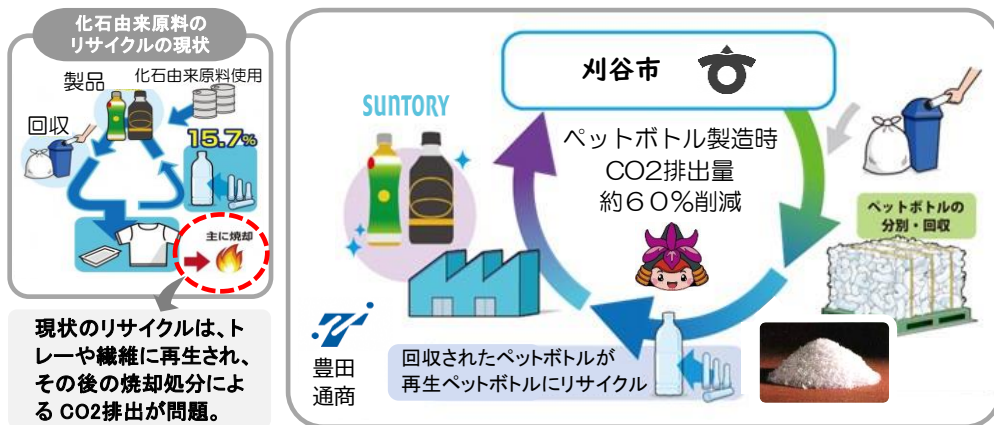
刈谷知立環境組合クリーンセンターのごみ焼却熱によって発電されたクリーンな電力を公共施設へ供給する地域新電力会社（刈谷市・知立市・パートナー事業者の共同出資）を設立し、エネルギーの地産地消と地域の脱炭素化を促進する。



■ ボトル to ボトル事業

市が回収する家庭から出たペットボトルを、全量ペットボトルへとリサイクル（ボトルtoボトル）し、国内に流通させる協定を民間会社と締結。（令和4年5月13日）

国内では現在、ペットボトルの再生率は89%と高い水準ですが、多くは食品トレーや繊維に再生され、使用後は焼却される場合が多く、その際CO2排出が課題とされている。そのため刈谷市では、民間会社と協力し、ペットボトルを何度も繰返しペットボトルにリサイクルできる資源に活用する事業を始める。CO2排出量削減といった脱炭素社会の実現と、循環型社会形成の促進を図っていく取組みを行っています。

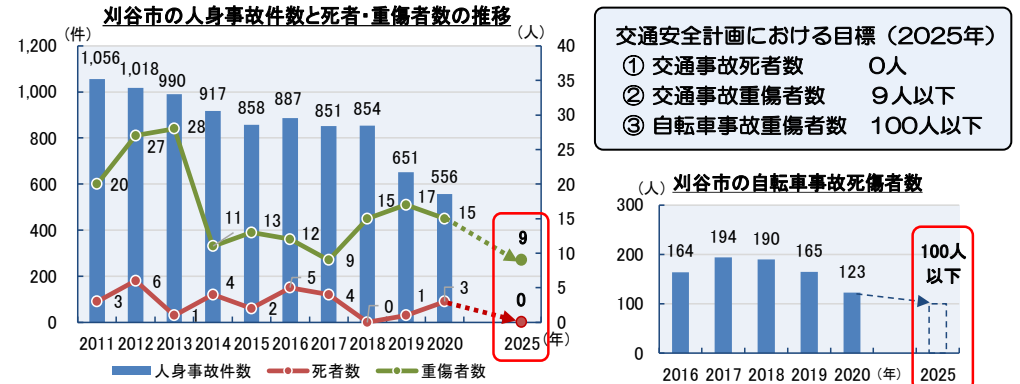


現状のリサイクルは、トレーや繊維に再生され、その後の焼却処分によるCO2排出が問題。

『第11次 刈谷市 交通安全計画』の概要を紹介します。

＜基本方針＞ 人命尊重の理念に基づき人優先の交通安全思想を基本に交通事故の無い社会を目指し、その実現を図るために講ずる施策を明らかにしていく。

【計画期間】 2021年度～2025年度



交通安全計画における目標（2025年）

- ① 交通事故死者数 0人
- ② 交通事故重傷者数 9人以下
- ③ 自転車事故重傷者数 100人以下

計画の基本施策

(1) 道路交通環境の整備

① 生活道路等における人優先の心・安全な歩行空間の整備	生活道路の交通対策、通学路等の安全確保、高齢者・障害者等の安全に資する歩行空間の整備等を推進。
② 幹線道路における交通安全対策の推進	事故危険箇所対策、重大事故の再発防止、道路の改築等による交通事故対策の推進。
③ 交通安全施設等整備事業の推進	交通安全施設等の維持管理、歩行者・自転車対策及び生活道路対策、高齢者等の移動手段の確保・充実の推進。
④ 自転車利用環境の総合的整備	安全で快適な自転車利用環境の整備、自転車等の駐車対策の推進。
⑤ 災害に備えた道路交通環境の整備	災害に強い交通環境を踏まえた道路整備の促進、災害発生時における交通規制の迅速かつ的確な実施。
⑥ 総合的な駐車対策の推進	地域の駐車需要を踏まえた駐車場等の整備促進、違法駐車を排除しようとする気運の醸成・高揚を図る。
⑦ 道路の使用及び占用の適正化	道路の使用及び占用の適正化、不法占用物件の排除、道路の掘り返しの規制等の推進。

(2) 交通安全思想の普及徹底

① 段階的かつ体系的な交通安全教育の推進	幼児・小学生・中学生・高校生・成人・高齢者に対する交通安全教育の推進。
② 交通安全に関する普及啓発活動の推進	横断歩行者の安全確保、自転車の安全利用、飲酒運転根絶、地域における交通安全活動への参加等の推進・啓発。

(3) 道路交通秩序の維持

交通事故抑止・自転車利用者に対する交通指導取締り、暴走行為抑止のための環境整備等の推進。

(4) 救助・救急活動の充実

救助体制の整備・拡充、応急手当の普及啓発活動、救急救命士の養成等の促進。

(5) 被害者支援の充実と推進

交通事故相談窓口の周知、自動車事故被害者等に対する援助措置の紹介等の充実。